

伯耆町児童生徒の「学力・生活」の状況

令和4年度『全国学力・学習状況調査』結果から

4月19日に『全国学力・学習状況調査』が実施され、7月26日には、小学6年生の国語・算数・理科と中学3年生の国語・数学・理科の調査結果が文部科学省から公表されました。その調査結果をもとに、伯耆町の児童生徒の学力と生活の様子についてお知らせします。

なお、この調査の目的は、全国的な教育施策の改善を図ることと、学校における学習と生活の指導の充実役に役立てることです。また、この調査の結果は今年4月時点での児童・生徒の傾向を示すものです。

学力の状況

小学6年生・中学3年生ともに概ね全国平均・県平均より高い

教科の概要

小学6年	全国	鳥取県	伯耆町	県平均との差	中学3年	全国	鳥取県	伯耆町	県平均との差	
児童数(公立)	965,308	4,253	97		生徒数(公立)	891,820	3,963	73		
平均正答率	国語	65.6	64.0	67.0	+3.0	国語	69.0	68.0	76.0	+8.0
	算数	63.2	62.0	61.4	-0.6	数学	51.4	51.0	56.0	+5.0
	理科	63.3	63.0	64.4	+1.4	理科	49.3	49.0	57.0	+8.0

この表は、本町の平均正答率を、全国および県の平均正答率と比較したものです。

小学6年生・中学3年生ともに、国語、数学、理科すべてで全国および県の平均正答率を上回る結果となりました。小学6年生の算数において、全国および県の平均正答率をやや下回りました。

生活の状況

◎仲間と関わり合い自分の考えを深める

質問内容	【小学6年生】肯定的な回答(%)			【中学3年生】肯定的な回答(%)		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
学級の仲間との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	90.5	80.1	+10.4	90.4	78.7	+11.7
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	85.7	80.0	+5.7	94.5	85.5	+9.0

「学級の仲間との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という質問への肯定的な回答が小中共に高く、仲間との話し合いを通じて、自分の考えを映し出しながら、考えを深めている様子がうかがえます。これは、学級生活の基盤がしっかりしている証拠であり、あらゆる人間力の基礎となるものです。道徳の授業での話し合い活動も活発であり、仲間と関わり、話し合いを活かしながら自らを成長させていこうとしている傾向が読み取れます。

◎地域と関わりをもつ児童生徒が多い

質問内容	【小学6年生】肯定的な回答(%)			【中学3年生】肯定的な回答(%)		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
今住んでいる地域の行事に参加していますか	80.9	52.7	+28.2	46.5	40.0	+6.5
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	61.9	51.3	+10.6	45.2	40.7	+4.5

本町では、「地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合が、経年的に高く推移しています。これは、町内すべての学校をコミュニティー・スクール(学校運営協議会を設置する学校)に指定し、地域とともにある学校づくりをすすめる、多く方のご支援をいただいていることも大きな要因と考えます。児童生徒の地域に貢献したいという気持ちをさらに伸ばしていけるよう、ふるさとキャリア教育を中心に据え、地域に主体的に関わる活動を通して、「地域とともにある学校づくり」のための取組の充実を図ります。

◎読書習慣の上に、家庭学習の習慣化を

質問内容	【小学6年生】肯定的な回答(%)			【中学3年生】肯定的な回答(%)		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	79.4	71.1	+8.3	61.7	58.5	+3.2
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(塾等を含む)(2時間以上)	15.9	25.1	-9.2	27.4	35.2	-7.8
学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか(10分以上)	68.3	59.6	+8.7	54.8	48.6	+6.2

平日の家庭学習については、経年的に見ても、本町の課題です。小学校では、学習進度に合わせて本町『家庭教育ハンドブック』の学習時間を目安に宿題をだしています。中学校では、テストごとに提出物が課せられます。その結果、計画を立てて勉強をすることや、1日10分以上読書をするということについては全国平均を上回って取り組めており「1日2時間以上」とはならなくても、家庭学習習慣の基盤は整っているようです。その上に、自学自習等「なりたいたい自分」に向かって進んで学ぶ取り組みを進めたいものです。

今後も、各家庭と連携しながら、家庭学習の定着を図っていきたいと思います。

◎携帯・スマートフォン、ゲーム等、家庭での時間の使い方に留意を

質問内容	【小学6年生】肯定的な回答(%)			【中学3年生】肯定的な回答(%)		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	71.4	71.5	-0.1	69.8	69.5	+0.3
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(1時間未満)	28.5	23.9	+4.6	34.3	28.6	+5.7
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間は除く)(1時間未満)	60.3	49.2	+11.1	31.4	24.1	+7.3

携帯電話やスマホ等の使い方について、家の人との約束を守っている児童生徒の割合は、約7割であり全国平均並みです。しかし、普段1日あたりのゲームの時間を1時間未満としている児童生徒の割合は3割前後であり、多くの児童生徒が平日1時間以上ゲームに時間を費やしています。SNSや動画視聴等のメディアの利用についても、1時間未満の割合は全国平均より多いものの、心身共に成長著しい小中学生は、節度ある利用が大切です。

ご家庭での時間の使い方について、機をみて話題にさせていただきたいと思います。

||||||| ま と め |||

学力調査では、全国平均、県平均と比較し、概ね良好な状況がみられました。中学校区等での生活習慣や学習方法の共有など、保小中一貫教育での系統的な取組、地域学校協働活動やコミュニティー・スクールなどの家庭や地域と連携した取組の成果が現れていると思います。

また、質問調査の結果からは、伯耆町の良さや課題が見えてきます。

良い面としては、小中学校共に、仲間との話し合い活動が活発でした。これは学級生活の基盤であり、あらゆる人間力の基礎となる「仲間とのつながり」が大いに感じ取れます。また、コロナ禍にあっても、地域と主体的な関わりを持つ児童生徒が多く、地域に対する関心が高いことも長所です。

一方で、家庭学習の習慣化や、ゲーム・メディア等の利用は、日々の生活の中で継続して取り組んでいかなければならない部分です。

成長期の児童生徒にとって、習慣の力はとても大きいものです。

本町では『家庭教育ハンドブック』を作成しています。将来への見通しを持った家庭教育ができるよう、発達段階に応じた家庭学習のコツ、基本的な生活習慣の定着に向けた取組が豊富に紹介されていますので、ぜひご活用ください。



問い合わせ先 教育委員会事務局 総務学事室 TEL 0859-62-0927